

決議（案）第1号

イスラエル・パレスチナ戦争の暴力行為を非難し、即時停戦を求める  
決議

上記の決議（案）を別紙のとおり提出する。

令和5年12月21日

三鷹市議会議長 伊藤俊明様

提出者	三鷹市議会議員	粕谷稔
賛成者	〃	土屋けんいち
〃	〃	大倉あき子
〃	〃	谷口敏也
〃	〃	大城美幸
〃	〃	野村羊子
〃	〃	山田さとみ
〃	〃	半田伸明
〃	〃	成田ちひろ
〃	〃	中泉きよし
〃	〃	蛭澤征剛

## イスラエル・パレスチナ戦争の暴力行為を非難し、即時停戦を求める 決議

本年10月7日、パレスチナ自治区ガザ地区を支配するイスラム組織ハマスとイスラエル軍との戦闘が始まった。

11月10日時点におけるイスラエル側の死亡者が1,200人以上（UNOCHA（国連人道問題調整事務所）発表）、ガザ地区での死亡者が11,078人（ガザ地区地元当局発表）とされ、ガザ保健省のデータによれば、11月3日時点のガザ地区での死亡者のうち、67%が子どもや女性とされ、少なくとも192人が医療従事者とされている。

今回の紛争による双方の犠牲者の多くが民間人であり、女性や子どもたちが無差別な攻撃により生命を落とし、住む場所を失い、食料や医薬品の不足、衛生環境の悪い中で生活を余儀なくされている。

11月8日には先進7か国（G7）外相会合が、ガザ地区の人道危機に対処するため、戦闘休止を支持するなどとしたG7外相声明を発表し、国連安全保障理事会は11月15日に緊急会合を開き、ガザ地区の子どもの人道状況を改善するための戦闘の一時休止と人質の即時解放を求める決議を採択している。12月12日には国連の緊急特別会合で人道目的の即時停戦を求めるほか、全ての人質の解放や人道支援の確保などを求める決議案の採決が行われた。よって本市議会は下記の事項を強く求めるものである。

### 記

- 1 全ての当事者が国際法を遵守すること。
- 2 一刻も早く停戦すること。
- 3 ガザ地区における人道危機を改善するため、水、食料、燃料、医薬品等の人道支援物資を供給すること。

上記、決議する。

令和5年12月21日

三 鷹 市 議 会